

脱穀体験教室

平成23年10月28日発行
発行 龍ヶ崎市回想法センター
龍ヶ崎市平台5-9-7
電話・FAX 0297-65-4443
e-mail pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp
h p www16.ocn.ne.jp/~piakaiso

冷え込んできました

脱穀をしました

考えさせられました



おだで干された稲も程よく乾燥できました。昔の遊び体験教室で「足踏み脱穀機」を使い脱穀を行ってきましたが、今年は、天気予報で土曜日が雨ということで、予定を一日早めて21日(金)に脱穀を行いました。

曇り空の中脱穀開始。足踏み脱穀機は、無意識のうちに体が覚えている「手続き記憶」・昔取った杵柄が大活躍します。子どもの頃、親の仕事を手伝っていた当時の記憶が鮮やかに体に甦る瞬間でもあります。

手馴れた手つきで脱穀をする「手つき、足さばき」は見とれてしまうほど鮮やかです。ぱらぱら小気味良い音を立て籾が弾け飛びます。今では見ることのない風景に、足を止め声をかけてくれるお客様と、しばし昔話に花が咲きます。

高台にできた仮設住宅で暮らす高齢者の方が、医者に行くのに、持病の薬をもらいに行くにも「足」がないのでタクシーを呼びに行けないので、ひどくならないと医者に行かないと。

我が家の高齢の母も、退院し我が家に帰ってからは、私たち家族と同じものを食べられる程、驚くほど元気になりましたが、この夏の入院で足腰が弱くなり、家の中の歩行も難しくなってきました。体調を崩したときは、ベッドから子供たちに母を負ぶってもらい車に乗せてもらい病院に連れて行きます。子どもたちがいないと、車がないと病院に行くにはタクシーを呼ばないと行けません。

今の医療では、通院でないと医療の点数がもらえない仕組みになっている中で、あえて往診をしている先生の話を知ることができました。

子どもの頃、熱を出せばかかりつけの医者が往診に来てくれました。そんなやさしい医療ができるようになったら、どれだけの高齢者や、幼い子どものいる家庭が救われることでしょうか。往診しづらい仕組みになっていると先生から伺いましたが、超高齢化が進む中、重度になればなるほど医療費はかさみます。「往診」で、早期治療が可能になれば、医療費も抑えることが可能になるのではないのでしょうか、先生のお話を聞いていて、そんな感じを受けました。

11月の予定

回想ガイド活動は、1日(火)15日(火)、18(金)
昔の遊び体験教室は、26日(土)わらで正月飾りを作ります
開催場所は、歴史民俗資料館
開催時間は、13時30分～15時30分です

